

# 第10回リサイクルバザー大盛況!!

# オウム対策住民協議会ニュース



**ご協力  
ありがとうございました**

4月9日、春と言うよりは初夏を思わせる日差しの中、第10回目となる烏山地域オウム真理教対策住民協議会による、リサイクルバザーが開かれました。烏山区民センター前広場に品物を並び始めると、待つてま



した!とばかりにお客さんが殺到して、大賑わいになりました。いつもの事ながら、常連さんや、早く来て「それは私の見ておいた物」「先にタツ

た。2時の終了時間には品物がほとんどなくなり、全員ほっとしたのと達成感で思わず、お客様への感謝、ありがとうございましたの言葉をお口にしていました。そしてなんと売上げは過去最高の、約67万円でした。これは住民協議会の活動で大切に使用していただきます。品物を寄付して下さいました皆様、ご来場のお客様ありがとうございました。

烏山地域  
オウム真理教対策  
住民協議会

子したから私の物」と、皆さん真剣です。衣類、靴・ハンドバッグ、アクセサリー、子ども用品、雑貨、せとものそして本部横には食品など、とその光景は広場全体がお祭り騒ぎ…。その中で動き回る関係者は嬉しい悲鳴でし

の開会挨拶、瀧澤実行委員長が議長で始まり、平成27年度事業・決算・監査の各報告が行なわれた。事業報告では、オウム真理教の監視では365日の活動、年2回の抗議デモ・学習会、募金活動は一年で27回、ニュースは年10回発行、リサイクルバザーの開催が報告された。事業・決算・監査の報告が全員の拍手



平成28年度烏山地域オウム真理教対策住民協議会が、4月27日烏山総合支所2階会議室にて開催された。

来賓として世田谷区から、宮崎健二副区長が出席し挨拶で、住民協議会がオウム真理教と対決し、16年間地域住民の安心・安全を守る活動を継続したことへの賛辞があった。住民協議会からは、古馬会長はじめ会員多数が出席した。総会は古馬会長の

で承認され、平成28年度事業計画・予算案の提案へと議事が進められた。

事業計画では、これまでの各種活動の継続が決定され、第10回リサイクルバザーの売上げが過去最高との報告と年間の事業計画の項目としてリサイクルバザーを盛り込む決定がされた。総会終了後、第1回住民協議会が開催され、第32回抗議デモ・学習会の実施計画が散会した。

平成28年度  
烏山地域オウム真理教対策住民協議会  
総会開催

## 足立区「第14回 抗議デモ及び集会」に参加して 寄稿

地下鉄サリン事件から21年を迎えた3月20日午後1時より、足立区入谷地域オウム真理教（アレフ）対策住民協議会が14回目になる抗議デモを行った。入谷中央公園には、真っ赤なのぼり旗を手に鉢巻を締めた参加者が集まり、その表情からは、デモにかける強い意気込みが感じられた。参加人数は、足立区役所、都・区議会議員をはじめ地域住民で約180名になった。世田谷区からも4名が参加し、オウム真理教の拠点となっている施設へ向けて拳を振り上げ、解散・解体を訴えるシュプレヒコールを繰り返しながら、事件の風化と再発の防止を誓い合った。

デモ終了後には、旧入谷南小体育館に移動し、地下鉄サリン事件被害者の会代表世話人の高橋シズエさ

ん、中村弁護士を迎え、3月13日に開催された「地下鉄サリン事件から21年の集い」の内容にもふれる講演が行われた。事件の理不尽さを訴え、解散するまで住民協議会と共に闘っていきたいと話されていた。

会場は、住民協議会の方々がスリッパや椅子を並べ講演が出来るように設営し、撤去するまでを協力して行っていた。烏山には、区民センターホールが有り、改めて場所を含め活動が出来る環境に感謝をしなければと強く思った。

足立区の住民協議会とは、強い絆の下、これからも活動の手を緩めることなく、情報の共有と協力体制をさらに強めていきたいと感じた貴重な一日となった。

## オウム真理教（ひかりの輪）の謎に迫る②

上祐はひかりの輪設立について、耳障りの良い言葉を並び立てるが、その内の一つに「アレフの信者を脱会させる」との内容がある。その理由としているのは、アレフが、地下鉄サリン事件を始めとした一連の事件に、オウム真理教は関与しておらず、陰謀だと説いている。また、元教祖麻原彰晃（死刑囚）の崇拜・帰依を強要し、オウム真理教時代の危険な教義の信仰を強めている事へ「危機感」をもち、一人でも多くのアレフ信者を救いたいという。さらにひかりの輪のホームページでも、危険なアレフの実態も解説している。「へえ、ひかりの輪はいいことをしているな」と思ってしまうところだが、これを鵜呑みにしてよいものか。前述の論法だと、アレフは悪者で、ひかりの輪はその悪の組織から、アレフに染まった信者を救出する、正義のヒーローとの設定となる。ん、こんな事がまかり通っていいのかな？ひかりの輪は元はと言えば、アレフから脱退した分派の筈だが。と言う事は、両派共オウム真理教そのものと言うことになる。それとも脱退すれば、オウム真理教ではないとでも言いたいのか。ひかりの輪は「脱麻原」とか「麻原の教義はやめた」と一方的に騒ぎたてるが、社会はそんな認識ではありません？麻原の教義を否定し、アレフを攻撃

すれば、社会が正義の使者と認めてくれるとでも考えているのか。このような事を真顔で言えるのは、地下鉄サリン事件後「オウム真理教がそんなことやる訳ないでしょう」とテレビで息巻いていたあの方「ああ言えば上祐」の、ひかりの輪代表上祐史浩を置いていないだろう。さて本題に戻るが、アレフの信者を説得し、脱会させていると言うが、外部から見れば仲間内のもめごととしか見えない。さらに不思議な事にアレフからひかりの輪に入会する信者もいるらしい。聞くところによると、アレフから入会する信者は、昔からの元オウム真理教信者らしい。それって、もしかしてアレフに疑問を持つ信者を、ひかりの輪に取り込み、オウム真理教全体として、信者の減少を防いでいるとの推測も成り立つが？それが本当なら、私たちが知らないところで何かうごめいているのか。二つの団体は、内輪もめと見せ掛け、実はどこかで相通じている？アレ、話が変な方向に来てしまったかな、これが真実なら？と考ただけでも背筋がゾックとしてきた。

※地下鉄サリン事件後、オウム真理教は名称変更を繰り返し、現在はアレフとなっている。上祐史浩が代表のひかりの輪は、2007年にアレフより分裂して設立された分派です。

## 住民協議会活動報告

4月27日（水） 平成28年度住民協議会総会  
4月27日（水） 住民協議会  
4月28日（木） 協議会ニュース155号初校正

5月9日（月） 協議会ニュース155号再校正  
5月11日（水） 事務局会議  
5月14日（土） 第32回抗議デモ・学習会  
5月17日（火） 協議会ニュース155号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。